

バージョン:V4.0(2025/4/1)版

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「GIS共通サービス利用機能を備える製品」地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

※記入上の注意(詳細な記入ルールは、「チェックリスト記述説明」シートを参照してください)

オレンジ色網掛けセルは、必ず記入してください

黄色網掛けセルは、必要に応じ記入してください

APPLIC 登録番号: K000363-0028★APPLICで記載

※赤字部分は、V3.9からV4.0の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2025

・GIS共通サービス標準仕様V3.2

・プラットフォーム通信標準仕様V3.4

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2025年12月4日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

団体名: 国際航業株式会社

団体のURL: http://www.kkc.co.jp/

APPLIC会員番号: K000363

★識別キー項目1
(識別キー項目3つで
ユニークになるように
申請者が指定する)

(d) 製品情報

代表製品名: Genavis

製品説明のURL: http://www.kkc.co.jp/service/admin support/intro integrated gis/index.html

複数製品で構成する場合は追記:

複数製品で構成する場合は追記:

複数製品で構成する場合は追記:

★識別キー項目2
(オプション)
(オプション)
(オプション)
(オプション)

製品識別情報(バージョン等): 地域情報プラットフォームオプションV1.10★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦月日): 2025年4月1日

対応OS: Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016

製品の形態((1)型から(3)型): (1)型

製品単品
(PF通信内部実装型)

製品分離型
(前提PF通信製品)

製品分離型
(前提PF通信
製品(他社))

業務処理製品
(GIS共通サービス
利用機能)
(PF通信処理)

業務処理製品
(GIS共通サービス
利用機能)
PF通信製品

業務処理製品
(GIS共通サービス
利用機能)
Y社PF通信製品

(1)型

(2)型

(3)型

前提となるPF通信製品(オプション)

前提PF通信製品名:

前提PF通信製品名:

※1

※1

※1 (2)型から(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

製品のカテゴリ: GISユニット

ユニット番号	ユニット名
17	乳幼児医療
18	ひとり親医療
50	財務会計
51	庶務事務
52	人事給与
53	文書管理
GS	GISユニット
AB01	防災情報共有ユニット

(e) 製品のクラウドでの提供について

提供の有無: 構築実績あり

参考となる情報(オプション):

対応可能なネットワーク(オプション)

LGWAN: 実績あり

専用線(閉域網): 実績あり

インターネット: 実績あり

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目 (準拠ルール)						
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)						
番号	要件		準拠ルール	必須/ 選択	製品・システム 確認	APPLIC 確認欄
1	GIS共通サービス利用機能 (地名辞典サービス)		GISユニットが提供する地名辞典サービスのサービスインタフェースを呼び出すことができること	必須	◎	○
1-1		地名辞典サービスの基本機能	次に示すGISユニットが提供する機能(サービスインタフェース)を呼び出すことができること ただし、“選択”の機能の提供は任意で良い	必須	◎	
1-1-1		地理識別子検索機能	地理識別子検索機能を呼び出せること	必須	◎	
1-1-2		場所インスタンス取得機能	場所インスタンス取得機能を呼び出せること	必須	◎	
1-1-3		場所インスタンス登録機能	場所インスタンス登録機能を呼び出せること	選択	◎	
1-1-4		場所インスタンス更新機能	場所インスタンス更新機能を呼び出せること	選択	◎	
1-1-5		場所インスタンス削除機能	場所インスタンス削除機能を呼び出せること	選択	◎	
1-1-6		サービスメタデータ取得機能	サービスメタデータ取得機能を呼び出せること	選択	◎	
1-2		地名辞典サービスの場所インスタンス 関連機能	次に示す機能(サービスインタフェース)を任意で呼び出せること	選択	◎	
1-2-1		地理識別子変換機能	地理識別子変換機能を呼び出せること	選択	◎	
1-2-2		場所インスタンス関連検索機能	場所インスタンス関連検索機能を呼び出せること	選択	◎	
2	GIS共通サービス利用機能 (地図表示サービス)		GISユニットが提供する地図表示サービスのサービスインタフェースを呼び出すことができること	選択		
2-1		地図表示サービスの基本機能	次に示すGISユニットが提供する機能(サービスインタフェース)を呼び出すことができること ただし、“選択”の機能の提供は任意で良い	条件付 必須(※1)		
2-1-1		地図画像取得機能	地図画像取得機能を呼び出せること	選択		
2-1-2		地図画像URL取得機能	地図画像URL取得機能を呼び出せること	条件付 必須(※1)		
2-1-3		凡例画像取得機能	凡例画像取得機能を呼び出せること	選択		
2-1-4		地物情報取得機能	地物情報取得機能を呼び出せること	選択		
2-1-5		サービスメタデータ取得機能	サービスメタデータ取得機能を呼び出せること	選択		
2-2		地図表示サービスの主題図機能	次に示す機能(サービスインタフェース)を任意で呼び出せること	選択		
2-2-1		主題図画像取得機能	主題図画像取得機能を呼び出せること	選択		
2-2-2		主題図画像URL取得機能	主題図画像URL取得機能を呼び出せること	選択		
3	PF通信機能		PF通信標準仕様のPF通信機能を持つこと	必須	◎	○
3-1		SOAP通信	PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと	必須	◎	
3-2		XML処理および共通ヘッダ処理	PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、プラットフォーム通信標準仕様として公開されるXMLスキーマにて定義される共通ヘッダの処理ができること	必須	◎	
3-3		XML処理および共通ヘッダ処理	PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること	必須	◎	
注(※1):「2 GIS共通サービス利用機能(地図表示サービス)」を提供する製品として登録する場合、必須機能である。						
備考欄(前提条件や制限事項について、「製品・システム確認」欄の○についての説明を記載してください)(オプション)						
・地名辞典データの交換において、対応する座標参照系は JGD2000 / (B, L), JGD2000 / 1 (X, Y) ～ JGD2000 / 19 (X, Y) です。 ・地図データの交換において、標準で対応するスキーマ仕様は ESRI Shapeファイルになります。						